

地域連携推進会議

令和7年 12月5日（金）

とみがおか

本日の次第

- ① 開会の挨拶
- ② 参加者紹介
- ③ 地域連携推進会議の手引き
- ④ 北ひろの森の趣旨説明
- ⑤ とみがおかの概要
- ⑥ 事業計画について
- ⑦ 意思決定支援（権利擁護）の取り組みについて
- ⑧ 上半期収支報告

質疑応答

とみがおかの概要①

〈沿革〉

昭和23年10月 富ヶ岡学園開設(精神薄弱児施設)

北ひろしま福祉会がスタートした事業所

平成15年4月 児者転換 「知的障害者施設とみがおか」となる

とみがおかの概要②

〈定員〉

施設入所 定員80名 現員82名

生活介護 定員80名 現員81名（1名は北広島デイセンターに通所）

短期入所 定員4名

障害区分

区分6～79名

区分5～3名

平均区分6

とみがおかの概要③

〈利用者構成〉

	人数	平均年齢	平均区分	強度行動障害
男性	60	45. 6	5. 9	60
女性	22	47. 6	5. 9	22
全体	82	46. 1	5. 9	82

特徴としては、強度行動障害、自閉症の方が多数在籍

とみがおかの概要④

〈職員構成〉

管理者	1名	
サービス管理責任者	4名	
支援員	49名	男性31名 女性18名
看護師	3名	
管理栄養士	1名	
配置医	1名	

とみがおかの概要⑤

【施設入所支援】

現在、生活形態を5パートに分けている。女性1パート、男性4パートパートごとに行事を企画して実施しており、誕生日外出、1泊での少人数の旅行など利用者の好みや希望を取り入れながら生活面での支援を行っている。

とみがおかの概要⑥

【生活介護】

現在、畑、体力づくり、施設外就労として市内農家2か所に職員、利用者として農家のお手伝いをしている。

北広島市から委託を受け、市内公園の清掃管理などを行っている。

活動の内容を機能訓練センターと連携しながら、助言を取り入れた活動を展開している。

事業計画について

事業目標 『その人らしくを支える』

この目標を達成していくために・・・

『らしくを支える』意思形成、意思決定支援をすすめていく

『らしくを支える』プライバシーの尊重

BCP(事業継続計画)について

○非常災害

- ・地震、火災を想定した避難訓練を年2回実施
- ・訓練の一環として、非常災害時の備蓄食を準備し、消費
- ・非常用発電機の設置

○感染症

- ・感染予防のための消毒、喚起、衛生環境の整備
- ・感染時の防護服の準備、ゾーニングなどの対応マニュアルの準備

苦情解決について

- 苦情への受付担当者、解決責任者の設置
- 年2回の苦情解決第三者委員会の開催
～苦情があれば報告
- 今年度、苦情はありません

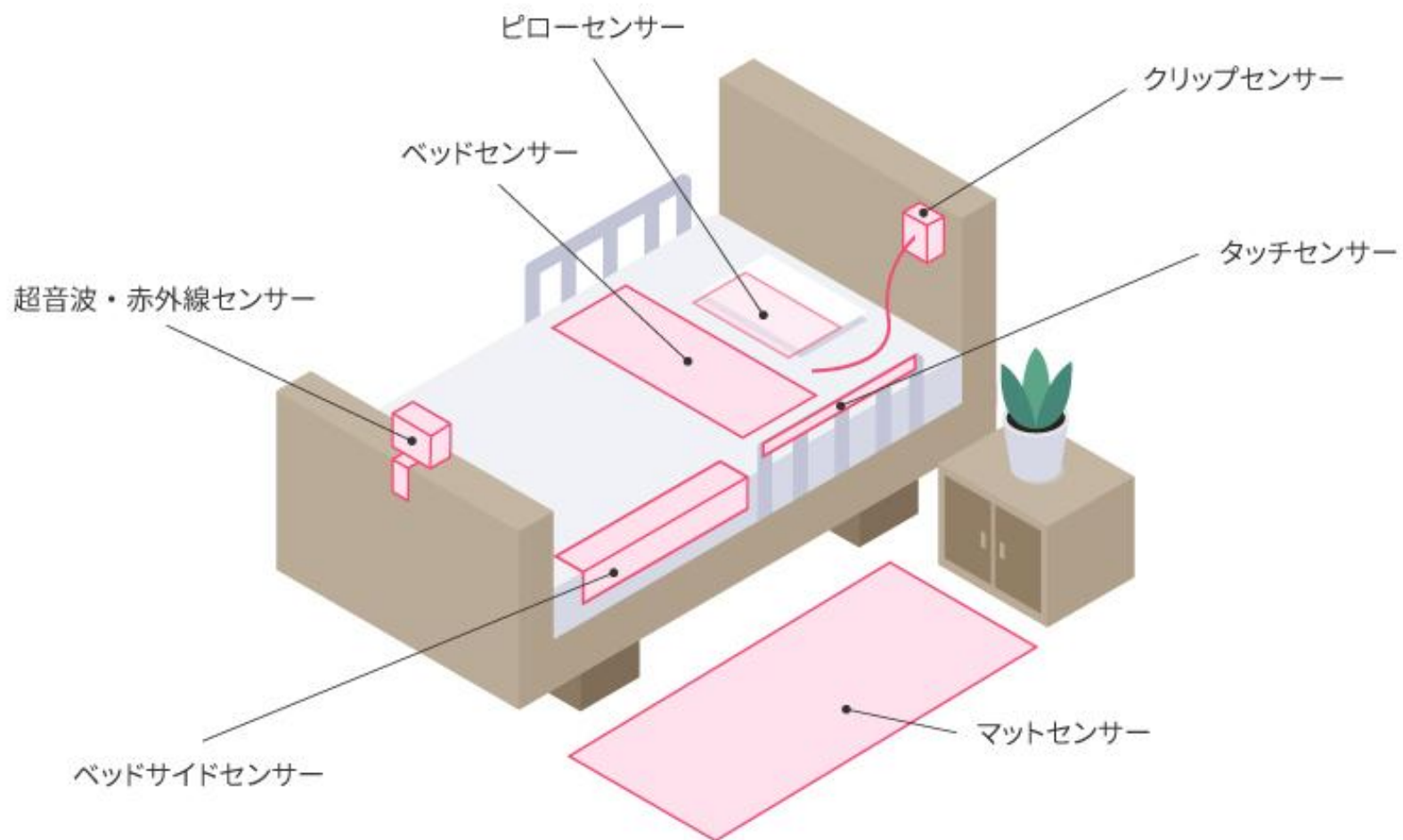
設備改善

- 空調・暖房設備の改修
- 各居室へのエアコン導入
- 特殊浴槽2台目の設置

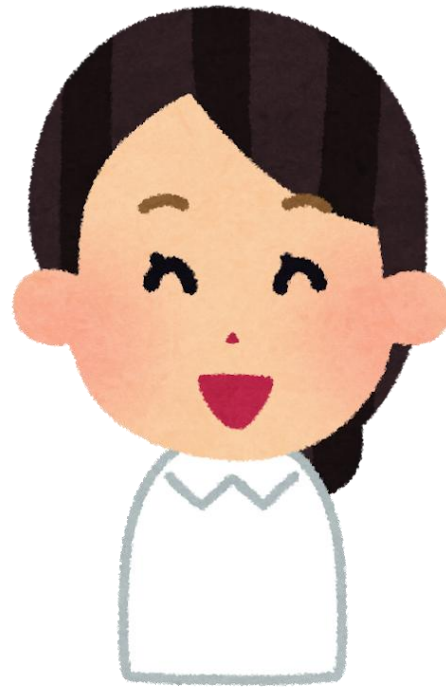
次に、現在とみがおかで使用している福祉用具について紹介いたします。

福祉用具とは、介助が必要な方に対して、日常生活や機能訓練をサポートするためのものであり、車いすや歩行器、特殊ベッド、移動用リフト、その他排泄や入浴をサポートするものなど様々なものがあります。

センサーマット・離床センサー



これらは、それぞれの利用者様が必要になった場合、職員以外に法人の看護師や理学療法士とも協議し、その方の必要性に応じたものを選択して使用しています。



見慣れないものとしては、
入浴用リフト(つるべー)や特殊浴槽



入浴用リフト



特殊浴槽

身体機能が低下してきた方にも安心して入浴(入浴と同等の効果が得られるもの)ができるものを導入しています。

入浴用リフトは一昨年、特殊浴槽は昨年導入。



入浴用リフトであるつるべーという用具は専用の椅子に座ったままリフトを使って浴槽の中に入って入浴するもの。



主に歩行の機能が低下していたり、歩行に不安のある方が使用。風呂場はケガのリスクが高い場所ですが、安全に入浴することができます。

入浴用リフト



特殊浴槽は、専用の車椅子に移り
リクライニングした状態で専用の機械に入り、ミストを浴びて体を温めます。
5分もすれば汗をかくほど体が温まります。
汚れも浮いて落ちやすいことも利点です。
溺れる心配もないため、安心して入浴ができます。

